

学校教育目標：「自律」「寛容」「志」
 ～自ら考え行動し、仲間と共に未来を切り開く～

目指す学校像
 地域に信頼される学校
 ○自ら学ぶ意欲を喚起する授業
 ○社会力（人と人との関係を築く力）と実行力（チームをまとめ、動かし、協力する力）を育む指導

目指す子ども像
 ○日常生活の中に課題を見つけ出し、自分の知識を総動員して答えを導き出す。
 ○他者との関係を協動的に築きながら、自分の考えを発信し、仲間と課題解決する。
 ○自分の人生を切り開き豊かな未来を創ろうと見通しや展望を持ち自己決定する。

【本年度の重点目標】
 1 学力づくり
 個を生かす指導と学習習慣の定着により、学力の定着を図る
 2 夢づくり
 夢や希望をはぐくむキャリア教育や体験活動の充実に努める
 3 人づくり
 自分で自分の行動に決まりをつけて、それにふさわしい行動をすることができる

研究テーマ
 「主体的な学びによる思考力・判断力・表現力の育成」
 ～仲間と見通しをもって協働する学びの時間を創造する～

生きる力を育成するために
国のキーワード
 「何ができるようになるか」（三観点）
 「何を学ぶか」（資質・能力の育成）
 「どう学ぶか」（主体的・対話的で深い学び）

県のキーワード
 「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」（15歳で身につけてほしい力）

市のキーワード
 変化の激しい時代を生きる力、21世紀型“スキル&倫理観”として、学び続ける力や他者と協働して問題解決する力、Grit グリットと言われる「やり抜く力・粘る力」が子どもたちに必要。

教職員の元気（人材育成・業務改善）
 ・自己課題を設定し、実践を通して教師力向上をめざす研修
 ・週1回の定時退校日を意識した自主的な校務管理
 ・危機管理の「さ・し・す・せ・そ」

福山100NEN 教育9th year
子ども主語と教材主語を意識した教材研究を中心に据えた「子ども主体の学び」
キーワード
記号接地 ～自分で発見して自分で修正する過程～
 試行錯誤しながら、時間をかけ熟成してわかっていくことを大切にする取り組みの推進

校務運営 ～危機管理意識を持って校務に臨む～
目標：「あいさつ」「環境」「授業」を整える。

総務
 校務分掌表（起案・決済ライン）の機能化
 危機管理意識の向上・業務改善
 校務会、企画会の運営
 社会状況の変化に応じた教育活動の修正

教務・研究
 組織的で計画的な教育活動の実施と確実な進行管理
 結果→分析→取組のサイクルの授業改善
 生徒・教材への理解を深めた教材研究と校内研修の充実

生徒指導
 行事（体育的・文化的・ボランティア）を通じた「あいさつ」「環境」「授業」の活性化
 生徒指導規定の見直し・いじめ問題啓発
 特別支援教育の視点に基づいた個への支援

各学年
 学習指導、学習集団・環境づくりの実施
 あいさつ、掃除、授業規律の確立

教育活動のアウトプット（めざす姿）

生徒
 各種調査の意平均を上回っている。
 授業内容がよくわかる90%以上
 「学級内では、お互いの考えや意見が認められていると思う」90%以上
 不登校生徒出現率が全国平均以下

教職員
 仕事にやりがいを感じている。90%
 授業づくりにあてる時間が確保できている80%以上

「あいさつ」「環境」「授業」
 あいさつ・美しいが定着している。
 授業の中で、生徒が選んだり決めたりする割合が増えている。
 教師は生徒の話をじっくり聞き、考える手助けをしている。
 「安心して通っている・通わせている」生徒・保護者 90%